



**CSP-HOR**

(Comprehensive Support Project for Health Outcomes Research)

## 「第2回ヘルスアウトカムリサーチ支援事業（CSP-HOR）年会」

### 開催のご案内

当支援事業は、財団法人パブリックヘルスリサーチセンターが平成12年に開始した「乳がん臨床研究支援事業（CSPOR-BC）」内のQOL研究支援事業を平成16年から発展・独立させ、対象を乳がんに限定せず、QOLに加えて医療経済も含む研究者主導研究を支援するものです。

昨年に引き続き、2回目の年会を下記の要領で開催する運びとなりました。

今回は、ヘルスアウトカム（患者さんや一般人を対象に、治療・看護・介護などの介入後に得られる健康に関する結果や成果）の評価指標の1つである「QOL（Quality of Life：生活の質）」に焦点を当てた講演と、「ヘルスアウトカムリサーチの社会への還元」をテーマにした、幅広い分野のシンポジストによるシンポジウムとディスカッションから構成されています。

ご参加の皆様からの質問も交えながら、進めていきたいと思っております。

皆様、ご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

#### 記

日時：2008年6月21日（土） 13:00～18:15

会場：東京大学 医学系研究科教育研究棟 14F 鉄門記念講堂

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_02\\_09\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html)

会費：一般 ¥3,000 学生：¥1,000

ヘルスアウトカムリサーチ支援事業運営委員会

運営委員長 大橋靖雄（東京大学大学院医学系研究科）

副運営委員長 下妻晃二郎（立命館大学総合理工学院生命科学部）

運営委員 福田敬（東京大学大学院医学系研究科）

高山智子（国立がんセンターがん対策情報センター）

森田智視（横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床統計学）

## プログラム

### 第1部（研究・教育講演） 13:00～15:25

- 内藤真理子先生（名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学 / 医学推計・判断学）  
「患者や職域を対象とした疫学研究：QOLに関する検討」
- 宮崎貴久子先生（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野）  
「緩和ケア臨床でのQOL評価の課題」
- 森田智視先生（横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床統計学・疫学分野）  
「Health-Related Quality of Life データの解析」

休憩 15:25～15:35

### 第2部（シンポジウムとディスカッション） 15:35～18:15

- テーマ「ヘルスアウトカムリサーチの社会への還元」
- 司会：高山智子先生（国立がんセンター がん対策情報センター がん情報・統計部  
診療実態調査室）  
：大橋靖雄先生（東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学）
- シンポジスト
  - ・患者さん側の視点から 中川 圭先生（乳癌患者友の会「きらら」世話人代表）
  - ・Quality Indicator(QI)（診療の質指標） 東 尚弘先生  
（国立がんセンター がん予防・検診研究センター 検診研究部）
  - ・CSP-HOR / CSPOR から発信される健康関連 QOL(HRQOL)のエビデンス  
大住省三先生（国立病院機構 四国がんセンター 乳腺・内分泌外科 乳腺科医長）
  - ・マスコミ関係者の立場から 本田麻由美先生（読売新聞 編集局 社会保障部 記者）  
テーマに添い各分野の視点から、スピーチおよびディスカッションしていただきます。

### 懇親会 18:30～20:00

会場：東京大学 医学系研究科教育研究棟 13F カポ・ペリカーノ

会費：¥5,000

<http://www.capo-p.com/about.html>

●お申し込み先 <http://www.csp.or.jp/hor/> 4月15日(火)～6月13日(金)

### お問い合わせ

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター ヘルスアウトカムリサーチ支援事業事務局

TEL：03-5287-2633 FAX：03-5287-2634

[info@csp.or.jp](mailto:info@csp.or.jp)